

特集

情報セキュリティ対策 について



1.

研究所
調査

ITの活用状況および情報セキュリティ対策の実施状況

(*) 2024年12月に (一財)和歌山社会経済研究所が独自に県内企業を対象に調査を実施

質問

IT機器・ITシステムの活用状況【単一回答】

回答

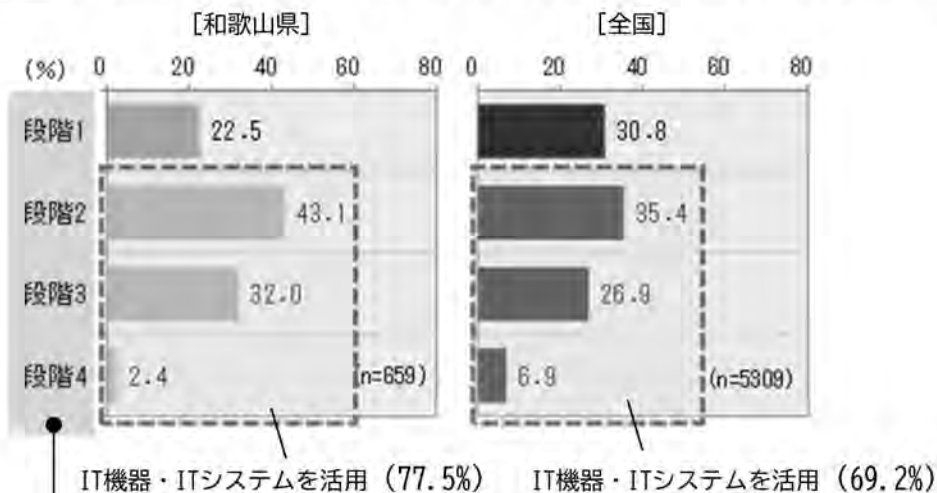
IT機器・ITシステムを活用している事業者は77.5% 全国の69.2%を上回る

!
Point

- ① IT機器・ITシステムを活用している事業者の割合では、和歌山県は全国を上回ったが積極活用(段階4)している事業者は2.4%にとどまり、全国の6.9%を下回る
- ② 従業員規模別では、規模の大きい事業者ほど活用段階が高い傾向にある。また、地域別では和歌山市において活用段階の高い事業者が多い

全国調査との比較

(*) 全国調査は帝国データバンク「中小企業が直面する外部環境の変化に関する調査」(2023年実施)



(参考) IT 活用の4段階

段階1	紙や口頭での業務が中心で、IT 機器・IT システムは活用していない 〈例〉受発注は FAX や電話のみで実施、勤怠管理は手書き・捺印で実施
段階2	IT 機器・IT システムを業務の一部で活用している 〈例〉電子メールの利用や会計業務における電子処理などを実施
段階3	IT 機器・IT システムを活用し、業務の効率化・データ分析を実施 〈例〉電子メール利用、会計業務の電子処理、売上・顧客情報などをシステムで管理
段階4	IT 機器・IT システムを積極活用し、他社との差別化や競争力強化を実施 〈例〉システム上に蓄積した売上・顧客データを活用して販路拡大・商品開発を実施

(資料) 中小企業庁「2024年版『中小企業白書』」

(*) 以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

産業別集計（和歌山県）

	建設業 (n=78)	製造業 (n=149)	卸売業 (n=97)	小売業 (n=99)	サービス業 (n=236)
段階1	23.1	22.8	22.7	26.3	20.3
段階2	55.1	43.6	37.1	40.4	42.4
段階3	19.2	30.2	36.1	32.3	35.6
段階4	2.6	3.4	4.1	1.0	1.7

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=159)	5～ 9人 (n=136)	10～ 19人 (n=131)	20～ 29人 (n=56)	30～ 49人 (n=61)	50～ 99人 (n=36)	100人 以上 (n=62)
段階1	42.8	28.7	15.3	10.7	9.8	2.8	3.2
段階2	42.1	41.9	45.8	39.3	49.2	38.9	43.5
段階3	13.2	29.4	36.6	39.3	37.7	55.6	51.6
段階4	1.9	0.0	2.3	10.7	3.3	2.8	1.6

地域別集計（和歌山県）

	和歌山市 (n=294)	紀北地域 (n=140)	紀中地域 (n=100)	紀南地域 (n=125)
段階1	22.8	20.7	28.0	19.2
段階2	39.1	45.7	40.0	52.0
段階3	34.7	31.4	31.0	27.2
段階4	3.4	2.1	1.0	1.6

質問

情報セキュリティ対策として実施していること【複数回答】

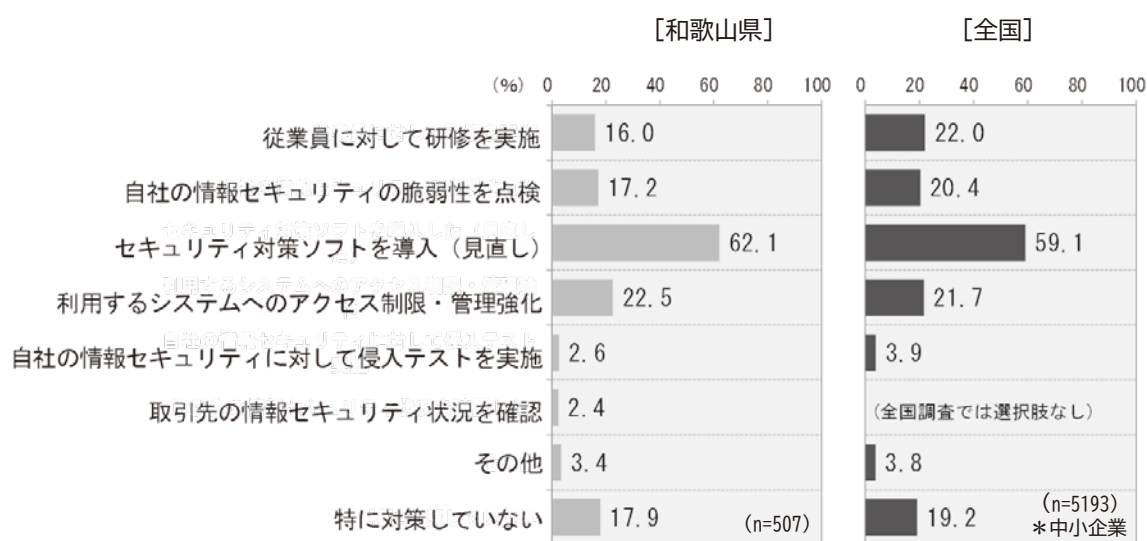
回答 「セキュリティ対策ソフトを導入（見直し）」が62.1%と最も多く、全国の59.1%を上回る

! Point

- ① 「特に対策していない」は17.9%あり、特に小売業（27.4%）、従業員4人以下（28.4%）が多い
② IT活用段階別では、「自社の情報セキュリティの脆弱性点検」、「利用するシステムへのアクセス制限・管理強化」が段階4で最も多い

全国調査との比較

（*）全国調査は東京商工リサーチ「不正アクセスと情報セキュリティ対策に対するアンケート調査」（2024年実施）



産業別集計（和歌山県）

（*）以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

	建設業 (n=60)	製造業 (n=114)	卸売業 (n=73)	小売業 (n=73)	サービス業 (n=187)
従業員に対して研修を実施	8.3	20.2	8.2	15.1	19.3
自社の情報セキュリティの脆弱性点検	20.0	14.9	15.1	11.0	20.9
セキュリティ対策ソフトを導入した（見直した）	71.7	67.5	60.3	50.7	61.0
利用するシステムへのアクセス制限・管理強化	16.7	29.8	20.5	27.4	18.7
自社の情報セキュリティに対して侵入テスト実施	3.3	0.9	1.4	0.0	4.8
取引先の情報セキュリティ状況を確認した	0.0	1.8	0.0	2.7	4.3
その他	1.7	4.4	1.4	4.1	3.7
特に対策していない	13.3	13.2	21.9	27.4	17.1

(*) 以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=88)	5～ 9人 (n=97)	10～ 19人 (n=111)	20～ 29人 (n=49)	30～ 49人 (n=55)	50～ 99人 (n=35)	100人 以上 (n=60)
従業員に対して研修を実施	9.1	11.3	9.9	18.4	20.0	25.7	33.3
自社の情報セキュリティの脆弱性点検	15.9	10.3	16.2	20.4	10.9	25.7	26.7
セキュリティ対策ソフトを導入した（見直した）	55.7	59.8	67.6	61.2	63.6	68.6	66.7
利用するシステムへのアクセス制限・管理強化	14.8	14.4	21.6	26.5	20.0	28.6	43.3
自社の情報セキュリティに対して侵入テスト実施	3.4	4.1	1.8	2.0	1.8	0.0	3.3
取引先の情報セキュリティ状況を確認した	2.3	1.0	1.8	2.0	5.5	0.0	5.0
その他	2.3	3.1	4.5	6.1	0.0	2.9	3.3
特に対策していない	28.4	19.6	14.4	12.2	16.4	17.1	13.3

IT活用段階別集計（和歌山県）

	段階2 (n=280)	段階3 (n=211)	段階4 (n=16)
従業員に対して研修を実施	12.1	20.9	18.8
自社の情報セキュリティの脆弱性点検	14.6	18.5	43.8
セキュリティ対策ソフトを導入した（見直した）	61.4	63.0	62.5
利用するシステムへのアクセス制限・管理強化	13.6	32.7	43.8
自社の情報セキュリティに対して侵入テスト実施	2.1	3.3	0.0
取引先の情報セキュリティ状況を確認した	1.4	3.8	0.0
その他	3.2	3.3	6.3
特に対策していない	20.7	15.2	6.3

IT活用段階

IT機器・ITシステムの活用程度を示したもの。ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。

地域別集計（和歌山県）

	和歌山市 (n=225)	紀北地域 (n=110)	紀中地域 (n=72)	紀南地域 (n=100)
従業員に対して研修を実施	19.6	13.6	6.9	17.0
自社の情報セキュリティの脆弱性点検	18.7	15.5	18.1	15.0
セキュリティ対策ソフトを導入した（見直した）	63.1	62.7	58.3	62.0
利用するシステムへのアクセス制限・管理強化	22.7	22.7	16.7	26.0
自社の情報セキュリティに対して侵入テスト実施	3.6	2.7	0.0	2.0
取引先の情報セキュリティ状況を確認した	2.7	2.7	2.8	1.0
その他	1.8	6.4	2.8	4.0
特に対策していない	17.3	18.2	23.6	15.0

情報セキュリティ対策を行ったきっかけ【複数回答】

回答

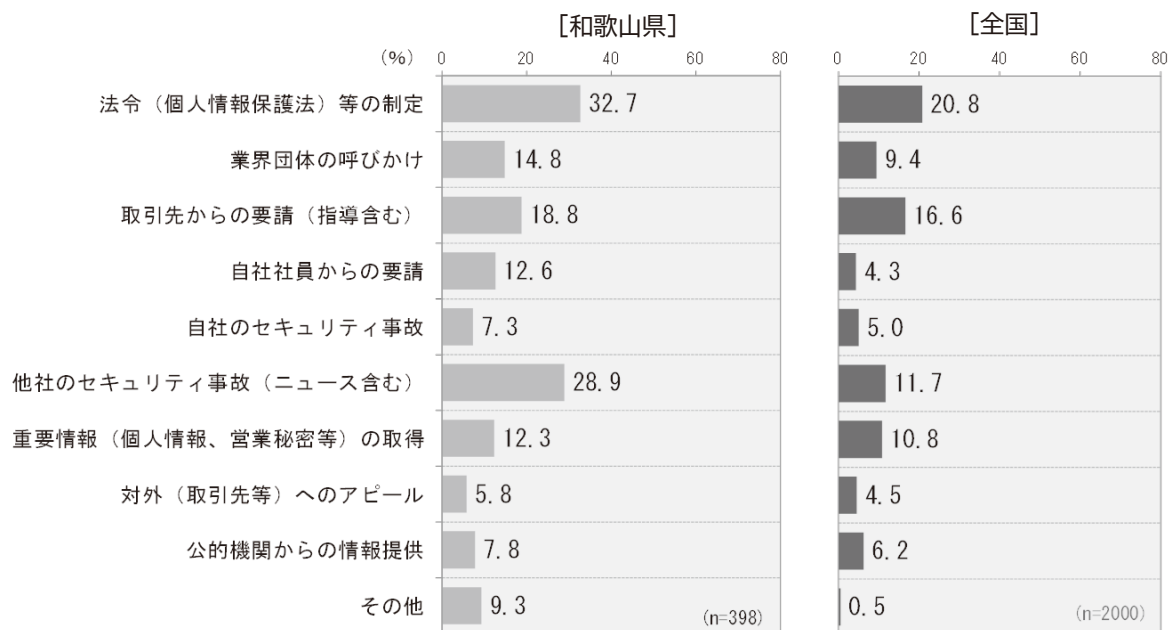
「法令（個人情報保護法）等の制定」、「他社のセキュリティ事故」をきっかけに情報セキュリティ対策に取り組んだ事業者が多い（全国調査に比べても多い）

! Point

- ① サプライチェーン全体での情報セキュリティ対策が重要になる中で、「取引先からの要請」は18.8%
 ② 「業界団体の呼びかけ」は14.8%で、運輸業や医療・福祉などのサービス業で比較的多い

全国調査との比較

（*）全国調査は三菱UFJリサーチ&コンサルティング「中小企業における情報セキュリティ対策に関する実態調査」（2023年実施）



産業別集計（和歌山県）

（*）以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

	建設業 (n=50)	製造業 (n=94)	卸売業 (n=54)	小売業 (n=51)	サービス業 (n=149)
法令（個人情報保護法）等の制定	20.0	36.2	24.1	41.2	34.9
業界団体の呼びかけ	12.0	10.6	11.1	17.6	18.8
取引先からの要請（指導含む）	20.0	22.3	13.0	17.6	18.8
自社社員からの要請	14.0	10.6	25.9	13.7	8.1
自社のセキュリティ事故	2.0	10.6	5.6	3.9	8.7
他社のセキュリティ事故（ニュース含む）	38.0	27.7	22.2	29.4	28.9
重要情報（個人情報、営業秘密等）の取得	10.0	18.1	3.7	5.9	14.8
対外（取引先等）へのアピール	8.0	5.3	5.6	5.9	5.4
公的機関からの情報提供	4.0	12.8	3.7	2.0	9.4
その他	10.0	11.7	9.3	5.9	8.7

(*) 以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=59)	5～ 9人 (n=75)	10～ 19人 (n=91)	20～ 29人 (n=42)	30～ 49人 (n=46)	50～ 99人 (n=24)	100人 以上 (n=52)
法令（個人情報保護法）等の制定	30.5	25.3	28.6	31.0	32.6	50.0	44.2
業界団体の呼びかけ	6.8	20.0	16.5	11.9	8.7	20.8	21.2
取引先からの要請（指導含む）	20.3	16.0	18.7	16.7	23.9	12.5	19.2
自社社員からの要請	10.2	14.7	13.2	21.4	8.7	4.2	11.5
自社のセキュリティ事故	6.8	5.3	7.7	9.5	2.2	16.7	9.6
他社のセキュリティ事故（ニュース含む）	25.4	25.3	26.4	38.1	32.6	37.5	30.8
重要情報（個人情報、営業秘密等）の取得	8.5	4.0	12.1	19.0	10.9	29.2	17.3
対外（取引先等）へのアピール	8.5	4.0	7.7	2.4	6.5	4.2	5.8
公的機関からの情報提供	5.1	5.3	6.6	0.0	15.2	12.5	15.4
その他	11.9	9.3	9.9	9.5	10.9	8.3	3.8

IT活用段階別集計（和歌山県）

	段階2 (n=215)	段階3 (n=168)	段階4 (n=15)
法令（個人情報保護法）等の制定	26.0	39.9	46.7
業界団体の呼びかけ	14.0	16.7	6.7
取引先からの要請（指導含む）	18.6	19.0	20.0
自社社員からの要請	10.2	15.5	13.3
自社のセキュリティ事故	7.4	6.5	13.3
他社のセキュリティ事故（ニュース含む）	28.8	29.2	26.7
重要情報（個人情報、営業秘密等）の取得	8.8	16.1	20.0
対外（取引先等）へのアピール	5.1	6.5	6.7
公的機関からの情報提供	7.0	9.5	0.0
その他	12.1	6.0	6.7

IT活用段階

IT機器・ITシステムの活用程度を示したもの。ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。

地域別集計（和歌山県）

	和歌山市 (n=180)	紀北地域 (n=87)	紀中地域 (n=51)	紀南地域 (n=80)
法令（個人情報保護法）等の制定	31.1	33.3	41.2	30.0
業界団体の呼びかけ	18.9	13.8	3.9	13.8
取引先からの要請（指導含む）	17.2	13.8	27.5	22.5
自社社員からの要請	11.7	12.6	11.8	15.0
自社のセキュリティ事故	7.2	6.9	11.8	5.0
他社のセキュリティ事故（ニュース含む）	31.7	27.6	21.6	28.7
重要情報（個人情報、営業秘密等）の取得	12.8	8.0	9.8	17.5
対外（取引先等）へのアピール	7.8	5.7	5.9	1.3
公的機関からの情報提供	8.9	8.0	9.8	3.8
その他	10.0	10.3	5.9	8.8

情報セキュリティ対策を実施する上での課題【複数回答】

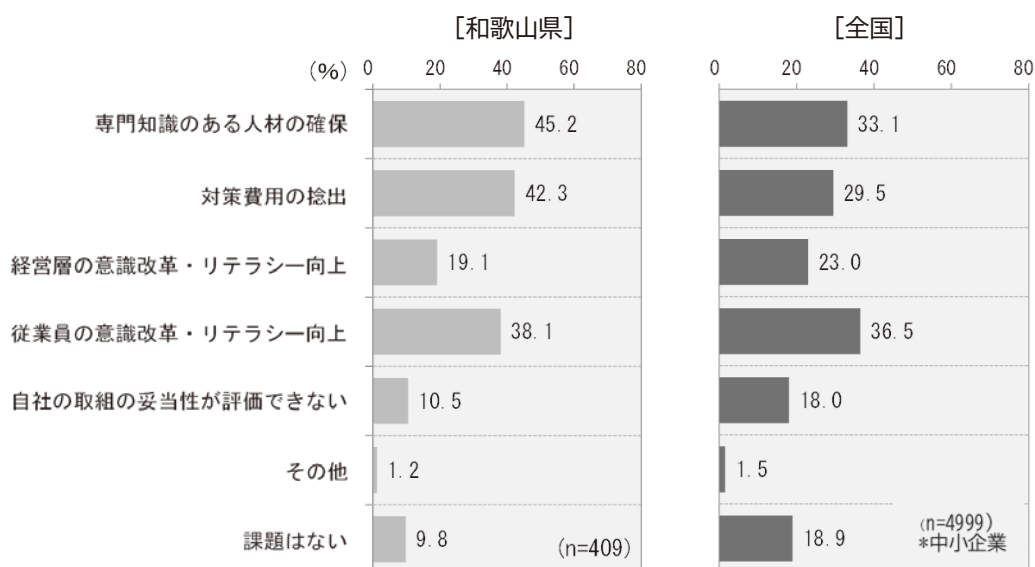
回答 「専門知識のある人材の確保」、「対策費用の捻出」が4割強（全国調査に比べて多い）

! Point

- ①「専門知識のある人材の確保」が45.2%で最多。産業別では小売業（54.7%）、地域別では紀南地域（51.2%）で回答割合が高い
- ②「対策費用の捻出」は42.3%と2番目に多い。産業別では製造業（49.0%）、地域別では紀中地域（60.4%）で回答割合が高い

全国調査との比較

（*）全国調査は東京商工リサーチ「不正アクセスと情報セキュリティ対策に対するアンケート調査」（2024年実施）



産業別集計（和歌山県）

（*）以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

	建設業 (n=51)	製造業 (n=96)	卸売業 (n=56)	小売業 (n=53)	サービス業 (n=153)
専門知識のある人材の確保	49.0	44.8	48.2	54.7	39.9
対策費用の捻出	29.4	49.0	37.5	47.2	42.5
経営層の意識改革・リテラシー向上	19.6	22.9	16.1	17.0	18.3
従業員の意識改革・リテラシー向上	49.0	39.6	30.4	34.0	37.9
自社の取組の妥当性が評価できない	5.9	10.4	12.5	13.2	10.5
その他	0.0	1.0	1.8	0.0	2.0
課題はない	9.8	8.3	10.7	5.7	11.8

(*) 以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=62)	5～ 9人 (n=75)	10～ 19人 (n=93)	20～ 29人 (n=43)	30～ 49人 (n=46)	50～ 99人 (n=28)	100人 以上 (n=52)
専門知識のある人材の確保	30.6	36.0	40.9	62.8	54.3	53.6	57.7
対策費用の捻出	40.3	42.7	44.1	44.2	39.1	46.4	42.3
経営層の意識改革・リテラシー向上	17.7	13.3	14.0	16.3	23.9	32.1	26.9
従業員の意識改革・リテラシー向上	21.0	29.3	35.5	32.6	47.8	60.7	61.5
自社の取組の妥当性が評価できない	8.1	13.3	11.8	16.3	4.3	7.1	9.6
その他	0.0	1.3	1.1	2.3	0.0	3.6	1.9
課題はない	16.1	13.3	8.6	4.7	10.9	3.6	1.9

IT活用段階別集計（和歌山県）

	段階2 (n=220)	段階3 (n=174)	段階4 (n=15)
専門知識のある人材の確保	44.1	44.8	66.7
対策費用の捻出	41.8	42.5	46.7
経営層の意識改革・リテラシー向上	16.8	22.4	13.3
従業員の意識改革・リテラシー向上	31.4	48.3	20.0
自社の取組の妥当性が評価できない	10.5	10.3	13.3
その他	1.4	1.1	0.0
課題はない	10.5	9.2	6.7

IT活用段階

IT機器・ITシステムの活用 の程度を示したもの。ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。

地域別集計（和歌山県）

	和歌山市 (n=184)	紀北地域 (n=90)	紀中地域 (n=53)	紀南地域 (n=82)
専門知識のある人材の確保	45.7	40.0	43.4	51.2
対策費用の捻出	39.7	41.1	60.4	37.8
経営層の意識改革・リテラシー向上	21.7	10.0	26.4	18.3
従業員の意識改革・リテラシー向上	43.5	27.8	35.8	39.0
自社の取組の妥当性が評価できない	9.8	13.3	7.5	11.0
その他	0.5	2.2	1.9	1.2
課題はない	10.3	13.3	3.8	8.5

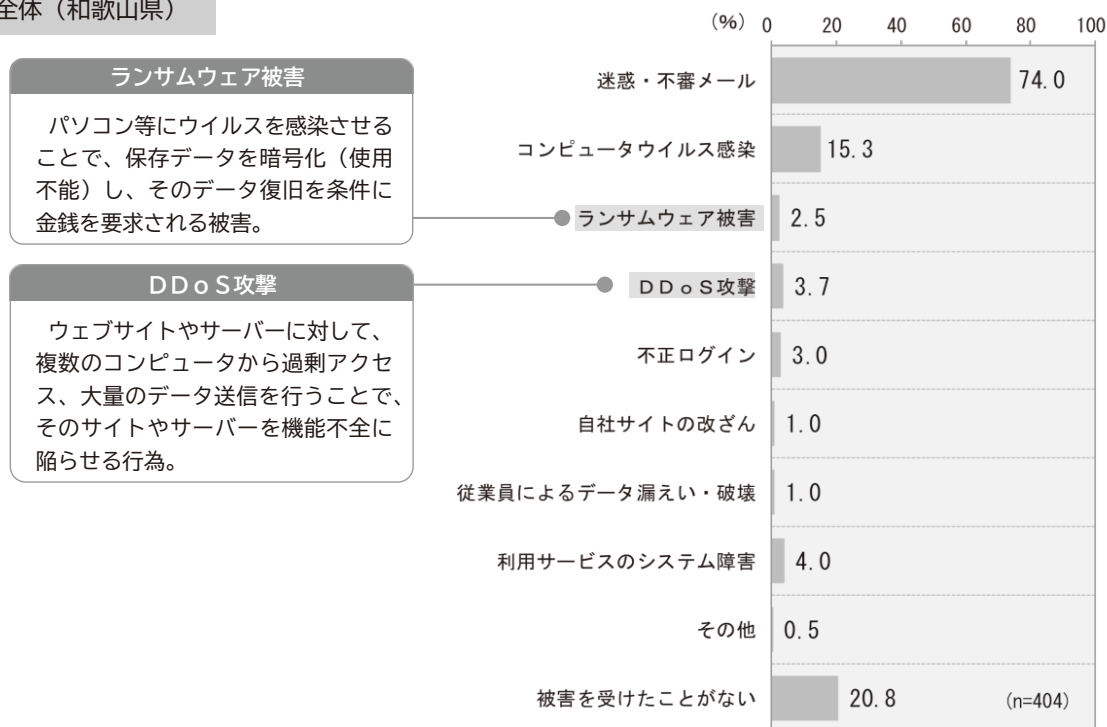
受けたことのある情報セキュリティ被害【複数回答】

回答 「迷惑・不審メール」が74.0%で最多。産業別では、建設業と製造業で85.4%と多い

! Point

- ①「ランサムウェア被害」、「DDoS攻撃」との回答は少ないが、従業員4人以下で回答割合が最も高い
②「コンピュータウイルス感染」が15.3%で2番目に多い。産業別では、建設業で20.8%と多い

全体（和歌山県）



産業別集計（和歌山県）

(*) 以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

	建設業 (n=48)	製造業 (n=96)	卸売業 (n=55)	小売業 (n=53)	サービス業 (n=152)
迷惑・不審メール	85.4	85.4	70.9	73.6	64.5
コンピュータウイルス感染	20.8	13.5	16.4	9.4	16.4
ランサムウェア被害	0.0	2.1	0.0	5.7	3.3
DDoS攻撃	4.2	5.2	3.6	3.8	2.6
不正ログイン	2.1	3.1	1.8	1.9	3.9
自社サイトの改ざん	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
従業員によるデータ漏えい・破壊	0.0	0.0	1.8	3.8	0.7
利用サービスのシステム障害	8.3	4.2	1.8	3.8	3.3
その他	0.0	1.0	0.0	0.0	0.7
被害を受けたことがない	12.5	12.5	20.0	26.4	27.0

(*) 以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=61)	5～ 9人 (n=73)	10～ 19人 (n=94)	20～ 29人 (n=43)	30～ 49人 (n=45)	50～ 99人 (n=27)	100人 以上 (n=51)
迷惑・不審メール	65.6	78.1	76.6	72.1	73.3	74.1	80.4
コンピュータウイルス感染	9.8	13.7	19.1	20.9	13.3	11.1	19.6
ランサムウェア被害	4.9	2.7	1.1	2.3	0.0	3.7	3.9
DDoS攻撃	8.2	0.0	3.2	4.7	0.0	7.4	5.9
不正ログイン	4.9	2.7	3.2	0.0	2.2	11.1	0.0
自社サイトの改ざん	1.6	0.0	2.1	0.0	0.0	3.7	0.0
従業員によるデータ漏えい・破壊	0.0	2.7	1.1	2.3	0.0	0.0	0.0
利用サービスのシステム障害	1.6	1.4	4.3	7.0	2.2	7.4	7.8
その他	1.6	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
被害を受けたことがない	27.9	19.2	14.9	18.6	26.7	22.2	15.7

IT活用段階別集計（和歌山県）

	段階2 (n=218)	段階3 (n=171)	段階4 (n=15)
迷惑・不審メール	70.2	79.5	66.7
コンピュータウイルス感染	15.1	15.2	20.0
ランサムウェア被害	1.8	3.5	0.0
DDoS攻撃	2.3	4.1	20.0
不正ログイン	3.2	2.3	6.7
自社サイトの改ざん	0.9	0.0	13.3
従業員によるデータ漏えい・破壊	0.5	1.8	0.0
利用サービスのシステム障害	0.5	7.6	13.3
その他	0.9	0.0	0.0
被害を受けたことがない	22.5	18.1	26.7

IT活用段階

IT機器・ITシステムの活用 の程度を示したものの、ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。

地域別集計（和歌山県）

	和歌山市 (n=179)	紀北地域 (n=90)	紀中地域 (n=54)	紀南地域 (n=81)
迷惑・不審メール	72.1	77.8	72.2	75.3
コンピュータウイルス感染	16.8	18.9	11.1	11.1
ランサムウェア被害	2.2	3.3	1.9	2.5
DDoS攻撃	3.4	4.4	7.4	1.2
不正ログイン	2.8	2.2	1.9	4.9
自社サイトの改ざん	1.7	0.0	0.0	1.2
従業員によるデータ漏えい・破壊	1.1	1.1	1.9	0.0
利用サービスのシステム障害	5.6	1.1	5.6	2.5
その他	0.0	1.1	0.0	1.2
被害を受けたことがない	21.8	17.8	22.2	21.0

質問

情報セキュリティ対策を実施していない理由【複数回答】

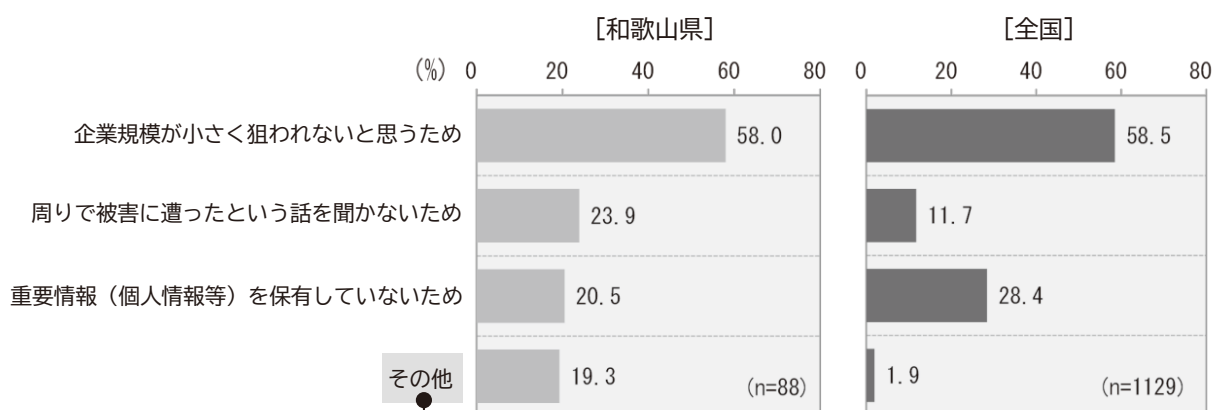
回答 「企業規模が小さく狙われないと思うため」が58.0%と最も多く、全国と概ね同じ割合

! Point

- ①「周りで被害に遭ったという話を聞かないため」が23.9%と2番目に多く、全国より割合が高い
②「重要情報（個人情報等）を保有していないため」が20.5%と3番目に多く、全国より割合が7.9ポイント低い

全国調査との比較

（*）全国調査は三菱UFJリサーチ&コンサルティング「中小企業における情報セキュリティ対策に関する実態調査」（2023年実施）



「その他」の主な意見

- “対策の必要性は感じているが、時間的に余裕がなく実施できない”
- “任せられる人材がおらず、対策できていない”
- “どのように対策をすればよいかわからず、実施できていない”
- “従業員各自に対策を任せている”

産業別集計（和歌山県）

（*）以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

	建設業 (n=8)	製造業 (n=13)	卸売業 (n=15)	小売業 (n=20)	サービス業 (n=32)
企業規模が小さく狙われないと思うため	75.0	53.8	53.3	60.0	56.3
周りで被害に遭ったという話を聞かないため	12.5	23.1	20.0	20.0	31.3
重要情報（個人情報等）を保有していないため	12.5	23.1	20.0	35.0	12.5
その他	25.0	15.4	33.3	5.0	21.9

(*) 以下表の網掛け箇所は、各行における最も高い値を示しています

従業員規模別集計（和歌山県）

	4人 以下 (n=25)	5～ 9人 (n=17)	10～ 19人 (n=16)	20～ 29人 (n=6)	30～ 49人 (n=8)	50～ 99人 (n=6)	100人 以上 (n=8)
企業規模が小さく狙われないと思うため	84.0	47.1	43.8	50.0	62.5	33.3	62.5
周りで被害に遭ったという話を聞かないため	16.0	23.5	12.5	66.7	25.0	50.0	25.0
重要情報(個人情報等)を保有していないため	16.0	29.4	25.0	16.7	25.0	0.0	12.5
その他	8.0	23.5	37.5	0.0	12.5	33.3	12.5

IT活用段階別集計（和歌山県）

	段階2 (n=56)	段階3 (n=31)	段階4 (n=1)
企業規模が小さく狙われないと思うため	58.9	58.1	0.0
周りで被害に遭ったという話を聞かないため	23.2	22.6	100.0
重要情報(個人情報等)を保有していないため	26.8	6.5	100.0
その他	12.5	32.3	0.0

IT活用段階

IT機器・ITシステムの活用の程度を示したもの。ITを活用していない「段階1」から積極活用している「段階4」までの4段階に区分。

地域別集計（和歌山県）

	和歌山市 (n=38)	紀北地域 (n=18)	紀中地域 (n=17)	紀南地域 (n=15)
企業規模が小さく狙われないと思うため	55.3	61.1	64.7	53.3
周りで被害に遭ったという話を聞かないため	31.6	22.2	5.9	26.7
重要情報(個人情報等)を保有していないため	18.4	11.1	29.4	26.7
その他	15.8	27.8	11.8	26.7

内 容	主 な 意 見
前向きな意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本を購入して勉強していきたい ・情報セキュリティについて、分かりやすい話を聞きたい ・セキュリティ対策の専門業者との連携を強化している ・社内で情報セキュリティ対策等の研修を実施している ・ITに詳しい税理士等の意見も聞きながら、必要な対策を講じたい ・IT活用を進め、情報セキュリティ対策についても、自社の脆弱性の点検を行いたい
後ろ向きな意見	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく対策コストが高すぎる。必要最小限の対策しかできていない ・情報セキュリティ対策機器の導入コストが高い上に、職員への周知等の手間もかかる。小規模事業者にとっては多大な負担だった ・サイバー攻撃、情報漏えいには不安を感じる。ただし、対策費用が割高だと感じる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティについて、何が正しい情報なのか分かりづらい ・情報セキュリティに関するサービスの利用を検討するも、この分野に詳しい従業員がいないため、適正価格が分からず、導入できずにいる ・ITの活用は必要だと思うが、情報セキュリティ対策をどの程度まで行えばよいのかわからない ・自社において最低限実施しなければならないセキュリティ対策を指摘してくれるような支援機関があってほしい ・情報セキュリティ対策を任せられる人材がいない ・ウイルス対策ソフトを導入済み。特に問題はなく、これ以上の対策の必要性を感じない

— 調査結果についての整理 —

- 新型コロナウイルス禍を契機としたテレワークの普及、人手不足を背景とした省力化ニーズの高まりから、多くの事業者がIT機器・ITシステムの利用を進めている。県内事業者におけるIT機器・ITシステムの活用状況を見ると、77.5%の事業者がITを活用しており、その割合は全国に比べても高い結果となった。
- ITの活用が進む一方で、情報漏えいや重要情報の消失、自社サイトのダウン（機能停止）など情報セキュリティ事故が増加している。県内事業者においても、IT活用事業者の約8割が情報セキュリティ被害を受けており、ランサムウェア被害、DDoS攻撃といった深刻な事象が従業員4人以下の事業者においても発生している状況であった。ただし、情報セキュリティ対策の実施状況を見ると、「セキュリティ対策ソフトを導入（見直し）」のみの事業者が大半を占め、対策をしていないとする事業者も一定数見られた。
- 対策を実施しない理由では、「企業規模が小さく狙われないと思うため」とする県内事業者が多いが、前述のとおり、企業規模に関係なく、深刻な情報セキュリティ事故は発生していることから、自社のIT活用状況に応じた情報セキュリティ対策が必要と考える。
- 対策を進める際の課題として、「専門知識のある人材の確保」、「対策費用の捻出」を挙げる事業者が多い結果であったが、資金や人員の制約がある中でも、「できることから始められる」対策もある。2024年版の『中小企業白書』（中小企業庁）において紹介されている『中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン』（情報処理推進機構セキュリティセンター）では、社内において実践可能な手順や手法がわかりやすくまとめられている。まずは、「5分でできる!情報セキュリティ自社診断」を参考に、自社のセキュリティ上の課題を明らかにした上で、前述のガイドラインを参照しながら対策に取り組むことが重要と考える。